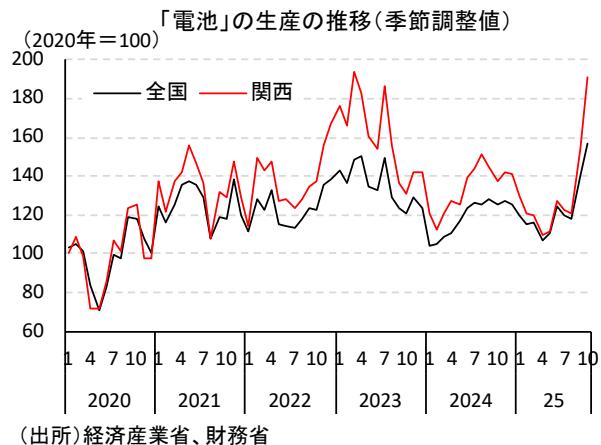
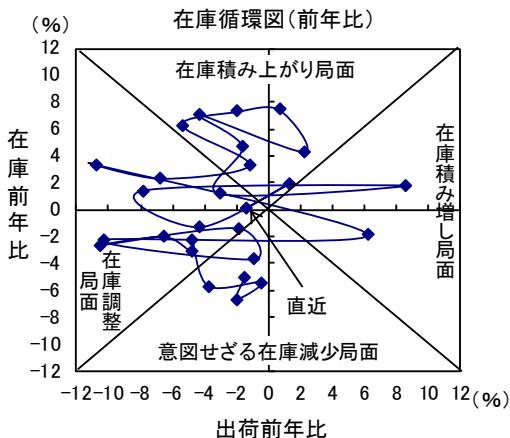
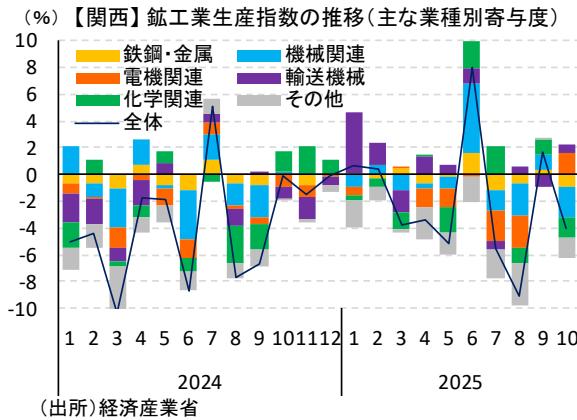
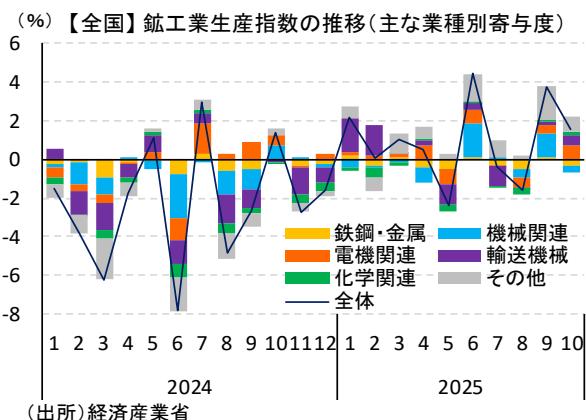


関西の景気トピックス【鉱工業指数（25年10月）】

- 25年10月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で4.0%減と、2か月ぶりの減少となった。業種別には電池を中心とした電機関連が増加したものの、半導体製造装置を中心とした機械関連や化学関連などが減少し、全体を押し下げる形となった。
- 在庫循環の状況をみると、前月の「出荷が頭打ちとなり在庫が積み上がる」在庫積み上がり局面から、「積み上がった在庫を調整するため、出荷を減らす」在庫調整局面に転じている。
- 直近の関西の生産動向で注目されるのは、EV向け等の電池の生産増加であろう。23年頃に大きく増えた後、24年から25年前半にかけてやや低調な動きとなつたが、直近の9~10月と大きく増加した。輸出向けの生産も含まれる中、米国でのEV生産等との連動性は不透明であるが、今後の推移が注目される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。